入学のしおり



東久留米市立第六小学校

東久留米市金山町１－１７－１

０４２－４７１－５３７０

東久留米市立第六小学校

新入生保護者説明会

次　第

１　学校長より

２　学校生活について　　現１年担任

３　給食について　　栄養士

４　保健関係　　養護教諭

５　ことば･きこえの教室について

ことば･きこえ教室担当

６　特別支援教室について

･プレ入学式について

特別支援教室担当

７　その他

･アレルギー調査用紙の提出について

１　本校の概要

○学級数・在籍児童数（令和５年１月３１日現在）

学年	1	2	3	4	5	6	全校
学級数	2	2	2	2	2	2	１２
児童数	５９	６３	５６	５９	５０	４２	３２９

○教職員

校長・副校長・主幹教諭・主任教諭・教諭・養護教諭・講師・事務主事・
スクールカウンセラー・特別支援教室専門員・用務主事・給食配膳員・交通擁護員

○東久留米市立第六小学校校歌

作詞　小橋　実博（初代校長）
作曲　湯山　昭

１　見あげよう　ともだちよ
あの青い　大空のはて
宇宙には　夢いっぱい
明日を生む
ちえをみがく
久留米第六小学校

２　手をとろう　ともだちよ
あたたかい　心と心
教室は　歌いっぱい
その声を　世界へ広げる
久留米第六小学校

３　がんばろう　ともだちよ
わかい芽の　のびるいのち
手足には　力いっぱい
しっかりと
きょうを歩く
久留米第六小学校

２　入学式　☆当日の流れが変更になる場合があります。その際は、前日までに本校ホームページでお知らせいたします。

○日時　　令和５年４月６日（木）　午前１０時開式
○場所　　本校　体育館

○持ち物　新入生⇒　ランドセル・ハンカチ・ティッシュ・上履き・上履き袋・校帽

保護者⇒　入学通知書・児童指導資料・給食自動払込利用申込書(お客さま控)・健康調査票・学用品を持ち帰る手提げ袋・スリッパ・名前ペン
食物アレルギー調査(未提出の方）、体温チェック用紙

※入学式に出席できない方は、事前にその旨を必ず学校に連絡して下さい。
＜学校の電話番号・０４２－４７１－５３７０＞

※名簿もれ、名前の読み違い、転居のため手続きが遅れた方、その他入学についてお話がある方は、受付に申し出て下さい。

※ 書類には、住所・電話・地図等**楷書で正しく読みやすく**記入して下さい。
特に、緊急連絡先は、けがや病気の場合に必要です。ご自宅が留守で連絡が付かない場合も考え、**緊急連絡先（携帯電話番号･勤務先等）を必ず、複数記入して下さい。**

（１）受付　（９：３０～９：４５）　東玄関階段前

① 正門で新１年生の名簿を受け取り、クラスを確かめて受付へ行きます。
② お子さんの名前を確かめ、書類等を受付へ提出してください。
③ 受付が済んだら、新１年生は自分の靴箱に靴を入れ、上履きに履き替えます。保護者は**空いている**靴箱をご利用ください。
④ 校舎内を通って体育館に移動し、お子さんは新１年生の席に座ります。案内をするまでは保護者の方はお子さんの近くにいていただいてかまいません。

＊９：５５には、新１年生、保護者の方とも着席できるよう、時間厳守にご協力ください。

（２）入学式（１０：００～）　校長・来賓の話、担任発表等

＜式後の流れ＞

① 式終了後、新１年生はいったん退場し、トイレ等をすませて、式場に戻り、写真撮影をします。
② 保護者は配布物等の説明がありますので、各家庭１名のみ指示された教室に移動してください。

１－１男の子の保護者：１－１教室、１－２男の子の保護者：１－２教室 １－１女の子の保護者：２－１教室、１－２女の子の保護者：２－２教室

③ その後、それぞれの教室に新１年生が行きますので、お子さんと一緒に下校してください。

＊その際、新一年生保護者会で通学路別リボンをもらっていない場合は東玄関の出口でリボンを取ってください。

３　入学までの準備

（１）学用品

① 入学式当日にお渡しする物

教科書７冊（国語、書写、算数、生活、音楽、図工、道徳）、交通安全ワッペン、ランドセルカバー、結核検診問診票、心臓検診問診表、プリント類（学校便り、学年便り等）

② 学校で一括して購入する物

ノート（国語、算数、自由帳）、連絡帳、連絡帳袋、ソフト下敷き、道具箱、図工クレヨン

※ 入学後に教材費（１年間分）を集金します。前年度９０００円を集金しましたが、追加集金が発生したため、次年度は１００００円集金予定です。

③ 各自用意する物

・ランドセル
・油粘土（ケース入り）
・粘土板
・給食セット
（ランチョンマット 50×30cm 程度、ハンカチ、マスクを巾着に入れる。）
・手提げ（２つ）
・筆箱
・鉛筆（２Ｂを４本以上）
・名前ペン（油性）
・赤鉛筆
・消しゴム
・予備のマスク
・ハンカチ
・色鉛筆（１２色）
・はさみ（ケースか袋付き）
・セロハンテープ
・液体のり（１本）
・折り紙
（チャック付き袋に入れて）
・ティッシュ

※ おもちゃ的・アクセサリー的なものやキャラクターが付いている文房具は使用不可です。学習用具一覧表（Ｐ．１８）を参考にご用意ください。

※ 鉛筆キャップも、基本的に必要ありません。

※ その他の必要な物については、入学後お知らせいたします。

（２）通学服（制服はありません）

安全に活動でき、汚れても構わない、自分で脱ぎ着できる服を選んでください。

（３）校帽

学校で指定した帽子（通学路別リボンを付けて）をかぶって登下校させてください。

（４）靴・上履き・上履き袋

① 登下校には、運動靴が適しています。厚底のものや足首までおおうような靴は避けてください（体育でもそのまま使用します）。

② 上履きはお子さんの足に合わせて、ご用意ください。白無地で「上履き」として販売されているものとします。柄付きやキャラクターのもの、華美なものは不可です。（つま先のゴム部分に色が付いているものは可）

③ 上履き袋をご用意ください。手作り・市販品どちらでも構いません。

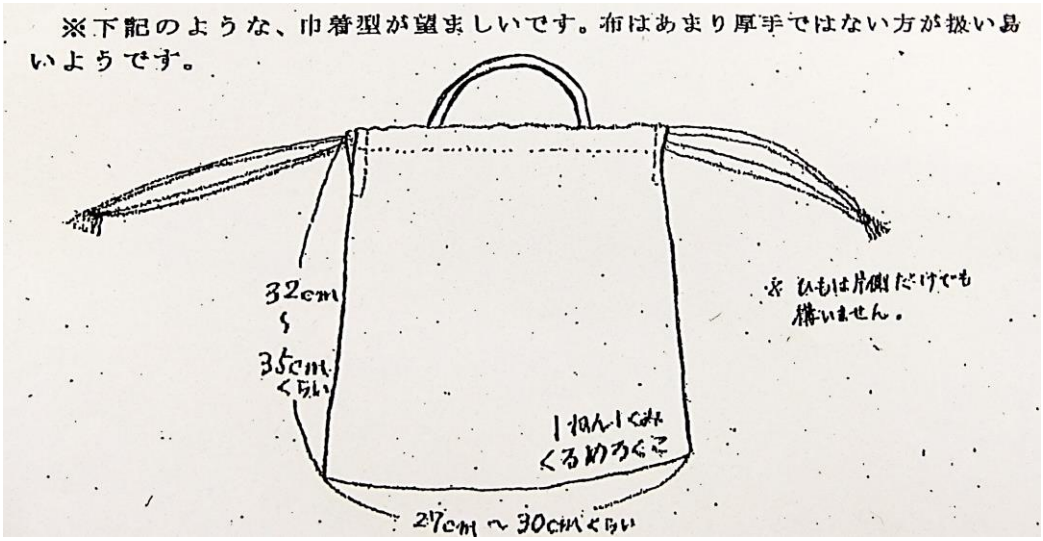
④ 上履きは、普段学校の靴箱に入れて帰ります。金曜日に上履き袋に入れて持ち帰りますので、洗濯をして月曜日に持たせてください。



（５）体育着・体育帽子・体育着袋

① 体育着と体育帽子（赤白帽）はお子さんの体に合わせて、ご用意ください。P.６を参照してください。

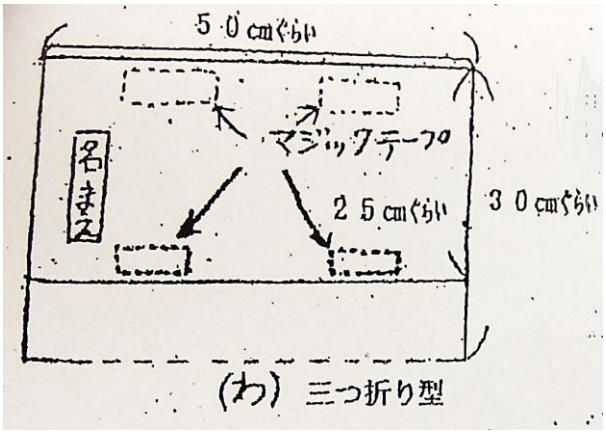
② 体育着と体育帽子を入れる袋をご用意下さい。手作り・市販品どちらでも構いません。

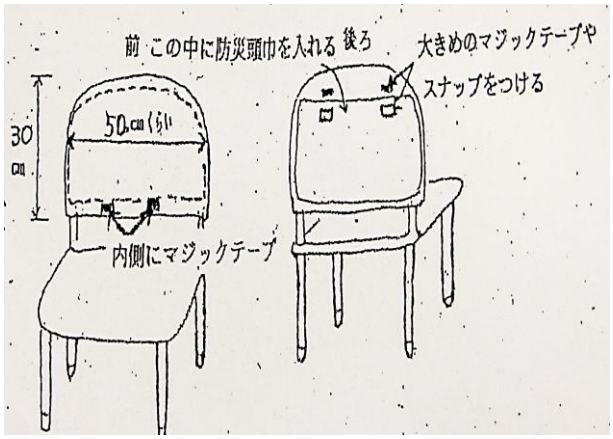


（６）防災頭巾・カバー

① 防災頭巾は、ご家庭で作られたものでも、市販のものでも結構です。

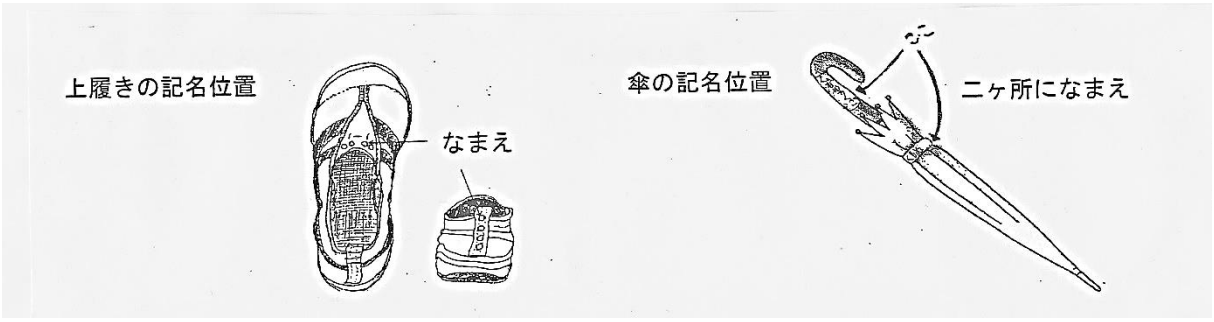
② カバーは椅子の背もたれに掛けられるものを用意して下さい。市販・手作りどちらでも結構です。





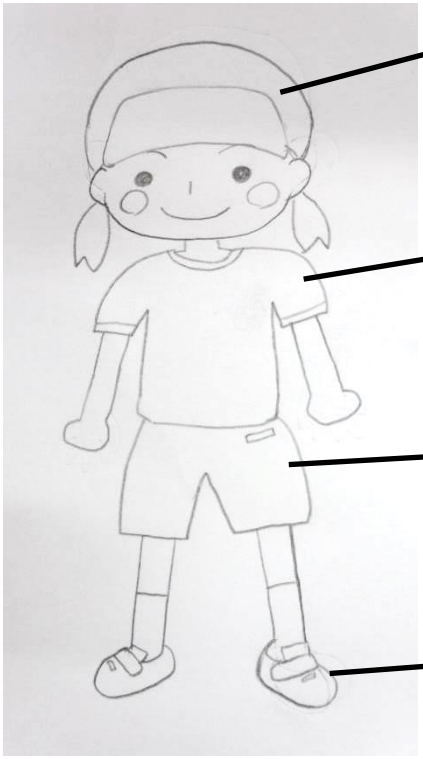
（７）記名

全ての持ち物には油性ペンを使い、<u>ひらがな</u>で記名してください。傘にも記名して下さい。記名の位置については下の図を参照にしてください。



※ 校帽は<u>證文堂</u>で取り扱っています。上履き・体育着・赤白帽子は證文堂でも取り扱っていますが、量販店で購入していただいても構いません。（別紙参照）

（８）体育時の服装について



＜赤白運動帽子＞
・つば付きのものを着用（Ｈ３０入学生より）
・ゴム紐を顎にかける

＜半袖シャツ＞
・白色で、厚手のしっかりしたものを着用
・原則、肌着を脱いだ上に着用
・短パンの中にしまう

＜クウォーターパンツ等＞
・体のサイズに合った紺色のものを着用（膝上）
・タイツ・スパッツは着用不可（ハイソックスは可）

＜運動靴＞
・脱げにくく、動きやすい靴で登校してください。
（紐靴の着用は、自分で結べるようになってから）

・体育の際は、上記の条件のものを着用します。また、運動のしやすい髪型にしてください。
・体育では汗を多くかきますので、原則として肌着を脱いでから体育着を着用します。発達段階や体調によって肌着を着用してもかまいませんが、汗をかいた状態でいると体が冷えて体調不良の原因になってしまいますので、体育時に肌着を着用する場合は替えの肌着をご用意ください。
・寒さの厳しい時期には、半袖シャツの上にトレーナーを着用することができます。
※ボタンやフード、チャックがあるものは活動中のけがの原因につながりますので、着用することができません。また、タイツ・スパッツもけがをした際に処置が遅れてしまいますので、体育時のタイツ・スパッツも着用不可です。
・体育着は月曜日に学校に持ってきて、金曜日（または土曜日）に持ち帰ります。
※汗などを多くかく時期は、動きやすい服装のものを体育着代わりとして着用することもできます。
・体育着を忘れてしまった場合、体育は原則見学となります。
・体調不良やけがで体育を見学される場合は、連絡帳等で担任にお知らせください。連絡がない場合でも、お子さんの体調によって、担任や養護教諭の判断で見学をすることもあります。

４　入学までに心がけること

学校では、自分のことは自分の力で取り組んでいくことを学びます。新しいことが出てきたときには、やり方を教えながら自分でできるように指導していきます。特に次のことは、入学までにご家庭でご指導いただけると幸いです。

（１）ひらがなで自分の名前が書けるように

ひらがなについては学校で勉強しますが、入学当初、靴箱や机、ロッカーに名札が貼ってあります。自分の場所がわかるように、自分の名前は読めるようにしておいて下さい。また、作品やプリントなどに名前を書く必要がありますので、自分の名前だけは書けるようにしておいてください。

（２）後始末ができるように

学校では、道具や教科書の出し入れが毎日あります。自分できちんと早く後始末ができることは、集団生活を送る上でとても大切なことです。また、自信をもたせることにもつながります。毎日の生活の中で、

・ランドセルからの道具の出し入れ
・筆箱への筆記用具の出し入れ
・道具箱の中への道具の出し入れと整理整頓
・衣服の着脱と脱いだ衣服のたたみ方
・トイレの使い方（和式も使えるように）
・水道の使い方（手洗い、うがい）
・雨具の使い方（かさは使用後、細く巻いてきちんとたたみ、とめる。雨かっぱをたたむ）

などを指導します。ご家庭でも必ず練習させてください。

（３）はっきり話したり、話を聞いたりできるように

新しい先生や友達とコミュニケーションをはかるためには、自分の思ったことを話したり、相手の話を聞いたりできることが大切です。特に具合の悪いときや、急にトイレに行きたくなったときなど、自分で話せることも必要です。そのためにも、毎日の生活の中で伝えたいことをきちんと話したり、人の話を最後まで聞いたりすることを大切にしてください。

（４）通学路を知り、安全に登校できるように

Ｐ.１７の通学路図で太線になっている道が、警察に届出をしている通学路です。自宅から最寄りの通学路まで出て通学させるようにしてください。また、通ってはいけない道を確認してください。

入学前に通学路を何回か歩いて、子供の足でどのくらいかかるか調べたり、どこで曲がったらよいかを覚えたり、危険なところでの歩き方を具体的に教えたりして（道路の横断、標識など）安全に登下校できるようにしておいてください。

登校は、近所の子と誘い合って複数で登校してください。４月下旬頃までの下校は、通学路を守り安全に帰れるように、通学路別の集団下校をします。その時に通学路別下校コースの途中で分かれていきますので、どこで曲がるのかをしっかり理解して伝えられるようにしておいてください。

※ ４月下旬頃まで、ご都合のつく方は、ご自宅前や学校近くまでお迎えに出ていただき、子供たちの下校の様子を見守り、危険なときはご指導いただけるよう、ご協力をお願いします。

通学路別コース（通学路ごとのコースになります。５月以降もしばらくの間は正門でコース別に集まってから下校する予定です。）

・金山坂上、上の原方面・・・赤
・金山坂下方面　・・・・・・黄
・氷川台坂上方面・・・・・・ピンク
・氷川台坂下方面・・・・・・水色
・金山学童保育所・・・・・・緑（学童に通う児童はリボンが二本になります。）

※本日、通学路別リボンと学童のリボンを必ず受け取って帰ってください。

５　その他

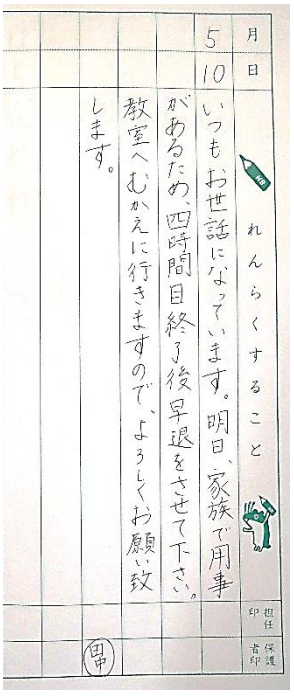
（１）学校からの配布物について

学校から配布される手紙は、連絡帳袋に入れて持ち帰ります。お子さんが帰ったら、毎日必ず中を確認して下さい。どの手紙にも大切なお知らせが書いてありますので、よく読んで下さい。その他に、お便りや大切な連絡等を学校ホームページに掲載したりマチコミメールを使って配信したりします。入学しましたら、ご確認ください。

（２）連絡帳について

担任に伝えたいことなどがありましたら、連絡帳でお知らせ下さい。
毎日必ず連絡帳を確認し、サインをしてください。

※連絡帳の書き方例



（３）遅刻・早退について

遅刻・早退の際には、安全のため教室まで保護者が送り･迎えの付き添いをしてください。お子さんだけで遅刻の登校・早退の下校はできません。

（４）転居について

転居する（特に他地区への転居や他校に入学することになった）場合は、できるだけ早く学校にお知らせ下さい。

（５）健康チェックカードについて（変更することもあります。）

新型コロナウィルス対応として、毎日お子さんの健康観察をお願いします。入学後に配布されます健康チェックカードに毎日、体温を記入し、保護者印を押してお子さんに持たせてください。

※P.13 の保健のページもご確認ください。

６　生活時程について（令和５年度予定）

第六小学校　生活時程

登校8:10～8:20	月	火	水	木	金	B時程	土曜時程
始業8:25	全校朝会 朝遊びタイム	朝学習	朝学習	集会等	朝学習	朝学習	朝の会 8:25～8:30
8:40	朝の会					朝の会	
8:45	1校時	1校時	1校時	1校時	1校時	1校時	1校時 8:30～9:15
9:30							
9:35	2校時	2校時	2校時	2校時	2校時	2校時	2校時 9:20～10:05
10:20	中休み（20分）					中休み(20分)	中休み（15分）
10:40	3校時	3校時	3校時	3校時	3校時	3校時	3校時 10:20～11:05
11:25							
11:30	4校時	4校時	4校時	4校時	4校時	4校時	4校時 11:10～11:55
12:15	給食(40分)					給食(40分)	帰りの会
12:55	清掃（15分）		5分休み	清掃（15分）		5分休み	下校12:05
1:10	昼休み(20分)		5校時 1:10～1:55	昼休み(20分)		5校時 1:10～1:55	
1:30	5校時	5校時	帰りの会	5校時	5校時	（帰りの会）	
2:15	帰りの会	（帰りの会）	下校2:00	帰りの会	（帰りの会）	6校時 2:00～2:45	
2:20	クラブ活動 2:20～3:20	6校時	委員会活動 （月1回） 2:00～2:45 下校2:50	6校時	6校時	帰りの会	
3:05		帰りの会		帰りの会	帰りの会	下校2:50	
3:10						※放課後タイム	
						1･2年2:00～2:45	
3:20	最終下校			最終下校		3～6年2:50～3:35	

月曜日について
- ◆第１月曜日
  8:25～8:40
  全校朝会
- ◆第２～５月曜日
  8:15～8:40
  朝遊び

７　給食について

（１）学校給食の目標

学校給食は「学校給食法」という法律に基づいて実施しています。学校給食法は、「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するもの」「学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ること」を目的とし、この目的を実現させるために学校給食において次の７つの目標を掲げています。(「学校給食法」第２条より抜粋)



①健康の保持増進を図ること
②望ましい食習慣を養うこと
③明るい社交性及び協同の精神を養うこと
④生命及び自然を尊重する精神、環境の保全に寄与する態度を養うこと
⑤勤労に重んずる態度を養うこと
⑥食文化についての理解を深めること
⑦食料の生産、流通、および消費についての正しい理解に導くこと

（２）給食の献立・調理について

第六小学校は親子調理方式により、給食を提供しております。親子調理方式とは、調理場を持つ学校（親校）が調理場を持たない学校（子校）の給食調理も行い、給食時間までに配送する方式です。市内神宝小学校が親校、第六小学校が子校です。

給食の献立は、文部科学省が定める「学校給食摂取基準」に則り、神宝小学校栄養士が作成しています。基準だけにとらわれるのではなく、旬の食材や行事食、郷土料理、世界の料理などを取り入れ、食域が広がるような献立内容になるよう心掛けています。

調理は神宝小学校内にある給食室で、手作りの味を大切にしながら、調理員が朝から時間をかけて作っています。また、「学校給食衛生管理基準」に従い、食品事故を起こさないよう衛生・安全管理も徹底しています。

（３）食物アレルギー対応について

学校給食において食物アレルギー対応を希望される場合は、東久留米市教育委員会が定める「学校給食における食物アレルギーの児童・生徒対応マニュアル」に沿って、安全性を最優先した対応を行います。食物アレルギー対応を始めるにあたっての流れは下記の通りです。

<u>①対応希望の調査と確認</u>

本日「食物アレルギーの調査について」を全員ご提出いただきます。

↓

<u>②食物アレルギー対応申請</u>

①の調査で給食対応を希望するとご回答いただいた場合、以下の書類をご提出いただきます。

・学校生活管理指導表（医師記入、文書料が必要です。）
・緊急時連絡カード（保護者記入）

↓

③対応開始前の保護者との面談

提出していただいた②の書類をもとに、管理職、養護教諭、栄養士、保護者、担任で面談を行います。面談が終了するまでは、お弁当持参となりますので、ご了承ください。

↓

④食物アレルギー個別プランの作成

学校内の食物アレルギー対応委員会にて、対応方法の協議・決定をします。

↓

⑤保護者へ対応方法の通知

↓

⑥食物アレルギー対応の開始



（４）ご家庭で意識していただきたいこととお願い

①給食では「はし」を使います。おはしが上手に使えるよう、ご家庭でも練習していただければと思います。

②無理に食べさせるような指導はしていませんが、苦手なものが多いと、給食が苦痛になってしまいます。少食・偏食であっても、一口食べてみる努力をさせるなど、好き嫌いをなるべく減らせるよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

③食べ物を粗末にしないように、食べきれる量だけを残さず食べる習慣を、ご家庭でも身に付けていただけたらと思います。

④給食時間は準備・片付けも含めて 40 分間ですので、食事時間は 20 分程度です。限られた時間での食事になりますので、食べる時には集中して食べることを、ご家庭でも意識していただけたらと思います。

⑤朝食抜きだと、脳や消化器の働きが悪くなり、気分が悪くなったり、学習にも影響がでたりします。朝食は、必ず食べてから登校させてください。

⑥給食当番の時には、毎日給食着を持ち帰ります。 洗濯・アイロンかけが終わり次第持たせてください。なお、ボタンがとれそうになっている、ゴムが伸びている等の場合は、修繕して持たせてください。

⑦衛生上、当番の児童は各自マスクを持参し、着用することになっています。当番の児童は新しいマスクに付け替えてから配膳しますので、給食用マスクの準備をお願いします。

（５）給食費について

本校では、学校給食費の取り扱いを**ゆうちょ銀行**の自動払込を利用して納入をお願いしております。手続きの方法は、下記の通りです。

① 口座準備

ア　ゆうちょ銀行の総合口座通帳をお持ちの方

名義人はご家族の方ならどなたでも構いません。

どこのゆうちょ銀行で口座を開いたものでも大丈夫です。

イ　ゆうちょ銀行の総合口座通帳をお持ちでない方

最寄りのゆうちょ銀行で口座開設をしてください。

ご不明な点がございましたら、ゆうちょ銀行にお問い合わせください。

② 自動払込利用申込書

本日お渡しした「自動払込利用申込書」は、「『自動払込利用申込書』の記入方法」をご参考に、必要事項をご記入・ご捺印の上、**３月１７日（金）までに、ご自身で最寄りのゆうちょ銀行窓口へ提出してください。**児童一人につき１組（２枚綴り）必要です。

入学式受付で、**自動払込利用申込書の控えを必ずご提出**ください。

初回の引き落としは５月上旬を予定しております。詳しい日程および金額等は、入学後にお知らせいたします。

８　保健について

（１）　家庭での朝の健康観察

① 毎朝、検温をし、お子さんの健康状態を見て下さい。体調面で何か気になることがありましたら、連絡帳でお知らせください。

★登校をお控えください★　Ｒ４年現在
・体温が平熱よりも１℃高い場合
・37.5℃以上の発熱がある場合
・通常の学校生活をおくるのが困難な場合（ひどい下痢や食欲不振など）
・ご家族に発熱者がいる場合（新型コロナウィルス感染症予防のため）

以上の場合のお休みは、出席停止となり、欠席扱いにはなりません。

② 欠席や遅刻の連絡は、電話かマチコミメールで朝８：２０までにご連絡ください。
マチコミメールについては、入学後に登録をお願いします。
体調不良で続けてお休みする場合も連絡をお願いします。
電話連絡は、7：45～18：00 の間のみつながります。

（２）基本的な生活習慣

・早寝・早起き　　・朝食を必ずとる（バランスのとれた食事）
・洗顔、歯みがき、排便　　・手洗い、うがいの習慣
・ハンカチ・ティッシュは、いつでも使えるように身に付けておく

（３）定期健康診断

①心臓・腎臓など各種の検査をし、お子さんの健康を守り、楽しい学校生活を送るための学校行事です。保健便りなどで日程や方法をお知らせします。ご協力をお願いいたします。

②定期健康診断・身体計測実施後、治療の必要な場合はすぐにプリントでお知らせします。治療の必要のない場合は、「健康カード」でまとめて結果を報告いたします。お子さんの健康状態を把握していただき、押印をしてお返しください。

（４）学校で病気やけがをした時

①病気

保健室でしばらく様子を観察し、症状が回復しない場合は、保護者の方に迎えに来ていただきます。なお、ご自宅が近所でも安全のため下校時間以外には、児童を一人で下校させていません。必ずお迎えをお願いします。

②けが

・保健室で行う処置は応急的な処置です。必ず下校後にけがの状態の確認をお願いします。また、下校後に病院へ行った場合には、その旨をお知らせください。
・けがの状態により、医師の診察が必要な場合や首から上のけがについては、原則保護者に連絡をします。病院へ行く場合は、**お迎えに来ていただき、保護者の方に連**

れて行っていただいています。ただし、緊急の場合やお迎えが難しい場合には、学校側で病院に連れていくこともあります。

※ 学校管理下（登下校も含む）にけがをして通院した場合(別紙参照)

日本スポーツ振興センターより災害給付金が支給されます。給付の対象は、医療費の総額が５０００円（３割負担で１５００円）以上かかった場合です。学校でけがをして受診する時は、㊊や㊐の医療証を使わずに受診してください。災害給付金の請求には手続きが必要となりますので、その際は学校にご連絡ください。手続き後、３～４か月して給付金が給付されます。この災害共済制度には入学と同時に全員が加入します。掛け金は、全額東久留米市が負担しています。

（５）緊急連絡先

・早退するときや緊急時の連絡のために、健康調査票に連絡先(勤務先)の記入をお願いいたします（その際、かけてほしい順番などがありましたら、その旨もわかるように記入してください）。
・その日の外出先が明確な場合などは、その連絡先を連絡帳に書くなど、お子さんにわかるようにしておいてください。
・勤務先の変更や電話番号の変更などがあるときは、できるだけ早く、担任にお知らせください。

（６）感染症と出席停止について（Ｒ４年現在）

①学校は集団生活の場ですので、病気の感染も早く、集団的に発生します。病気の悪化や周りへの感染を防ぐために、医師から登校の許可があるまで欠席ではなく出席停止扱いとなる感染症があります。治って登校する際には、**治癒証明書**を持参してください。「治癒証明書」は発行手数料(500円程度といわれています)がかかります。

なお、新型コロナウィルス感染症については、本人が罹患した場合だけでなく、濃厚接触者になった場合等にも出席停止となります。（新型コロナウィルス感染症については、治癒証明書の提出は不要です）

校内でアルコール消毒をする場合がございます。アレルギー等がありましたら、必ず担任にお知らせください。

（７）その他

学校で洋服や下着を汚してしまった時のために、保健室では替えの洋服・下着を準備しています。洋服は洗濯してお返しいただきますが、下着については新品のものをお渡ししていますので、同じサイズの新品の下着をお返しください。

保護者各位

東久留米市教育委員会
東久留米市立第六小学校

出　席　停　止　の　お　知　ら　せ

お子様が、医師により下記の学校感染症と診断された場合は、本人の休養と他児童生徒への感染予防のため、学校保健安全法第１９条により出席停止（欠席扱いにしない）になります。出席停止の期間中は、ご家庭でゆっくり休養させてください。

なお、学校内における感染拡大防止の観点から、医師より許可が出ましたら、治癒証明書をもらい担任に提出してください。

※治癒証明書の発行に当たっては、料金がかかりますことをご了承ください。

学校で予防すべき感染症及び出席停止の期間の基準

感染症の種類		出席停止の期間の基準
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群及び特定鳥インフルエンザ	治癒するまで
第二種		次の期間（結核及び髄膜炎菌性髄膜炎を除く。） ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではない。
	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）	発症した後５日を経過し、かつ、解熱した後２日（幼児あっては３日）を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は５日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後３日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後５日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹（３日ばしか）	発疹が消失するまで
	水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がか皮化するまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後２日を経過するまで
	結核	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎（はやり目）、急性出血性結膜炎、その他の感染症（溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症　等）	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

治 癒 証 明 書

東久留米市立第六小学校長　殿

学校名・年・組	東久留米市立第六小学校　　年　　組
児　童　名	

上記の者は、下記〇印の学校感染症のため　令和　　年　　月　　日から
治療中でしたが、学校保健安全法の基準により、感染のおそれがないと認めます。

病　　名

1．百日咳　　2．麻疹　　3．流行性耳下腺炎　　4．風疹

5．水痘　　6．咽頭結膜熱　　7．結核　　8．髄膜炎菌性髄膜炎

9．流行性角結膜炎　　10．急性出血性結膜炎　　11．腸管出血性大腸菌感染症

12．その他の感染症（　　）

登校許可年月日	令和　　年　　月　　日　より

※６月から９月の期間、水泳について

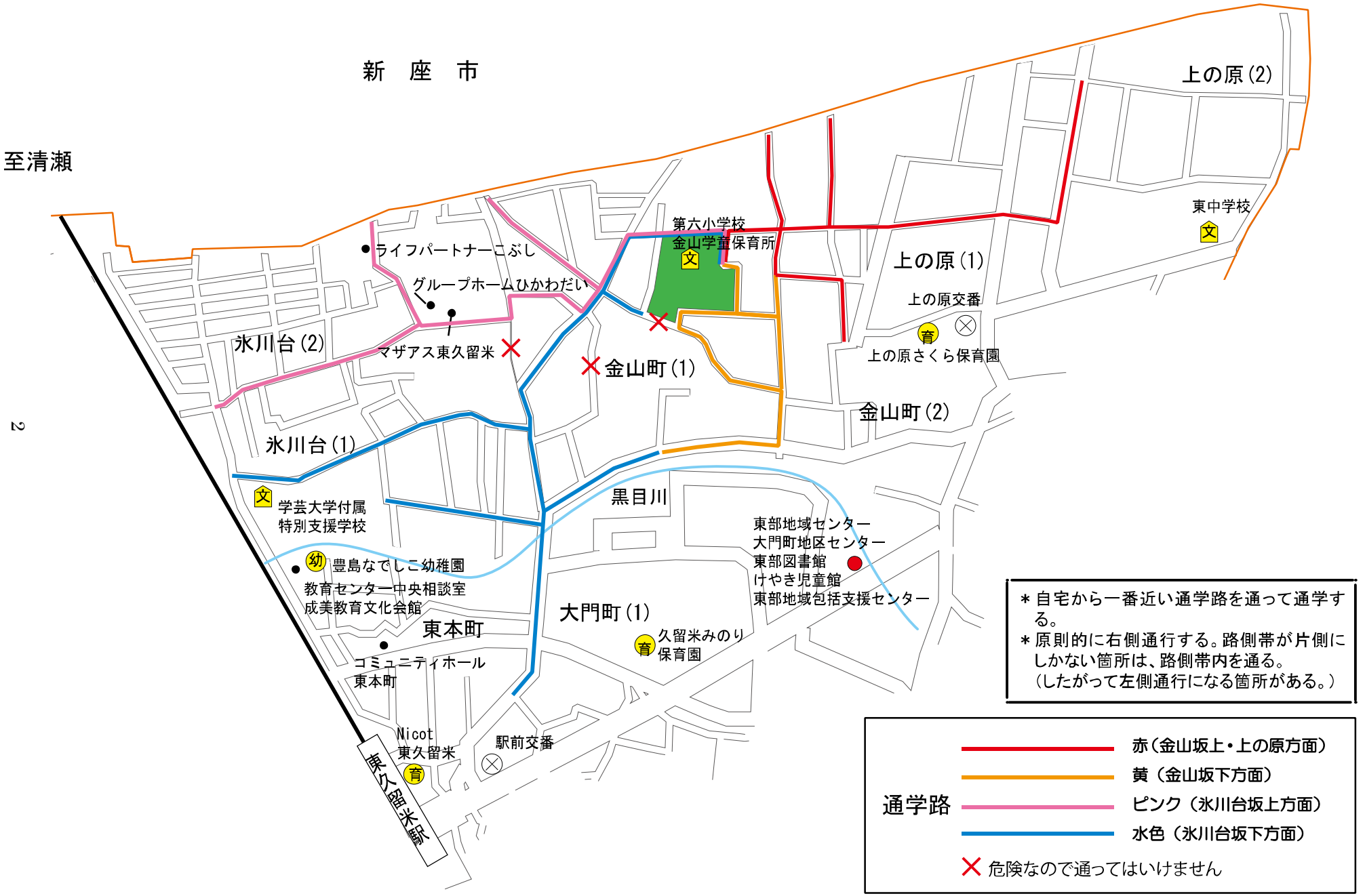
参加許可年月日	令和　　年　　月　　日　より

令和　　年　　月　　日

医療機関名

医師名　　㊞

東久留米市立第六小学校　学区域地図



学習用具一覧表

◎キャラクターなどが入った学習用具は、できるだけさける。

項目／場所	写真（例）	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ロッカー・フック		○登校後すぐに学習用具を机の中に入れる。 ○体育着、上履き入れは廊下にかける。 ○上着はたたんで、校帽とともにランドセルに入れる。 入りきらない場合は、ロッカーの中。 ○ぞうきんは、イスの下。洗濯ばさみでつける。 ※ランドセルには、防犯ブザー以外はつけない。					
机の中		○一方の道具箱に、常時置いておくものを入れる。					
		○もう一方の道具箱に、教科書、ノートを入れる。入らない場合、筆箱をロッカーに置く。特に高学年には、使い方を工夫させる。					
机の上		○教科書、ノート、下敷きを重ねておく。 ○筆箱は、机の奥側に置く。		○必要に応じた学習用具を出しておく。		○必要に応じて、資料集などを用意する。	
ノートの準備と使い方		○指定されたノートを使用する。		○残りのページが少なくなってきたら、新しいノートを早めに準備する。		○ノートに日付を書き、必要な線を描くなどの準備をしておく。	
		※使い終えたノートは、1年間は各自で保管する。					
各教科用具		○筆箱・下敷き ○道具箱の中身 ○図工袋 ・教科書 ○ねんど・ねんど板 ○絵の具 ○音楽袋 ・教科書 ・歌集 ・鍵盤ハーモニカ		○習字道具 ○図工袋 ・教科書 ・のり ○音楽袋 ・教科書 ・歌集 ・リコーダー ○算数セット（下図参照）		○裁縫セット	
算数セット		・ブロック ・時計	○三角定規（2枚組） ・算数の教科書と同じタイプのもので、中心部分が透明なもの。	○コンパス ・鉛筆タイプのもの。 ※シャープペンシルタイプは不可。 ○はさみ、のり（液体のり、スティックのり）	○分度器 ・算数の教科書と同じタイプのもので、角度の線が描かれているもの。		

項目／場所	写真（例）	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
道具箱		○のり ・液体のり ※色、におい、キラキラ付きでないもの。 ※担任の指示により、他のものを使用する場合があります。 ※教室移動でもち運ぶ際は、筆箱や小物入れに入れて、持ち運ぶ。		○のり（スティックのりも可）			
		○はさみ ・道具箱に入るサイズのもの。 ※教室移動でもち運ぶ際は、筆箱や小物入れに入れて、持ち運ぶ。					
		○セロハンテープ ・道具箱に入るサイズのもの。テープカッター付きのケースに入れる。					
		○色鉛筆 ・基本は12色。 ※色が多すぎると、サイズが大きくなり、学校では使用しづらいため。					
		○自由帳 ・学習ノートを忘れたり、連絡帳を忘れた場合に、ノートの代わりに使用する。 ・休み時間のお絵描きも使用する。					
		○クレパス ・12～16色					
		○折り紙 ・20枚程度 ※ジッパー付きの袋に入れる。 プラスチックケースは不可。					
筆箱と筆箱の中		○導入期は、筆箱タイプ。 ※缶ペンケース型は使用禁止。		※一度購入したものをなるべく長く使うよう指導。			
				筒型、袋型も使用可。 ※ストラップは禁止。			
		○鉛筆 ・5本（2BまたはB） ※シャープペンシルは、使用しない。 ※鉛筆キャップは原則使用しない。					
		○消しゴム ・1個（できる限り、白い消しゴムを使用する。） ※香りつき・色つきは、消えにくいのですすめていない。					
		○赤鉛筆	○赤鉛筆・青鉛筆…各1本（1本のものでもよい） ※カラーペンは原則持ってこないが、学年に応じて持ってくる。				
		○名前ペン ・1本（油性のもの）					
		○ミニ定規 ・1本（筆箱に入るサイズ。12～15cm程度。 ＊導入期は10cmが使用しやすい。 ※透明で、余計なキャラクターなどが描かれていないもの。 ※伸ばすと30cmになるタイプは壊れやすく、遊び道具にもなるため使用禁止。					